

事業紹介

■政令指定都市先進地“仙台市”視察研修を実施（平成22年2月18日～20日）

平成22年3月23日に城南町、植木町と熊本市が合併し、新しい熊本市が誕生しました。人口は約73万人となり、平成24年4月1日の政令指定都市移行に向けて大きく前進したところです。今後は新しいスタートに向けて、これまで以上に市民に対する啓発・機運の醸成に力を注ぐと同時に熊本市の未来像についてしっかりと考える必要があります。

そこで、当協議会では、平成元年に政令指定都市に移行した仙台市の視察研修を実施しました。

視察研修の主な内容 ……………

●太白区役所訪問



研修初日は、まず仙台市太白区役所を訪問。太白区は、同市の南西部に位置し、温泉郷や、市内4割を超える埋蔵文化財が集中。また、同市南部の玄関口として仙台空港、地下鉄南北線、東北本線、東北自動車道など交通の要衝としての地理的条件を兼ね揃えている。ただし、通過点とならないよう、区の特徴を生かしたバランスのとれたまちづくり「ディスカバーたいはく事業」を実施している。

◆区の財産を情報発信するための「ディスカバーたいはく事業」は、行政任せではなく、運営・展開に地元住民の方々積極的に携わっているという点で印象的。また、外向けの事業だけでなく地元小学校児童に対しても故郷のすばらしさを伝えるため「地元学」として授業の一環に反映させている点も興味深い。

●仙台市役所視察



研修2日目には、仙台市役所を訪問。同市総合政策部交流政策課等の担当者より、仙台市シティセールスプラン戦略や、交通インフラ、交通政策の取り組みなどを聞いた。

◆官民共同で立ち上げた“仙台ブランド推進委員会”による「仙台カフェ」サイトを運営。国内外を問わず一度関わりを持った人々に対し、定期的に情報誌を発行するなど、「いかに仙台を知ってもらい、訪れてもらうか」ということに熱心に力を注いでいる。また、港、駅、空港を結ぶ物流対策のインフラ、市民、観光客に対する地下鉄、中心部周遊バス、観光バス「るーぶる仙台」の運行など“アクセス30分構想”の実現に向けたインフラの充実ぶりは目を見張るものがあった。

●青葉区役所視察



研修の最後は、青葉区役所を訪問。総務課、まちづくり推進課の担当者より話を聞いた。青葉区の区域は都心から山形県境まで北西方向に帯状に広がり、同市の区の中で、人口、面積とも最大。近代的な都市機能と豊かな自然環境が共存する「多様性」が区の特徴となっている。

◆仙台市中心区である青葉区の街づくりは、区民目線を積極的に取り入れた区民参加型のイベントを通じて、行政と区民の垣根を低く、都会の中に人を惹きつけており、それが区の特徴と言える。また、行政に対して待ちの姿勢ではなく、区民自ら仕掛けるという印象を得た。

参加者からのコメント

- ・仙台市のイメージとして、街並みの整った、住みやすい場所だと感じた。
- ・政令市に移行して20年経った今、様々な課題に直面しているものの、積極的に各種事業に取り組んでいる。
- ・今後の熊本の将来像を見据えていくうえで、市民が主体となるような行政および各地域での役割分担、特性を生かしたまちづくりを進めていくことが重要。
- ・人口、街の規模等は先進政令市として目を見張るものがあったが、熊本もその素晴らしい観光資源を最大限に生かす活動を来年の九州新幹線全線開業に合わせて考え、計画し実行する必要がある。
- ・駅で、まず目についたのが、バスケットボールチームの広告。ひとつの都市でプロのスポーツチームを3つも持っているのは初めてと聞いた。都市活性化には必要だと感じた。

【参加者 熊本商工会議所青年部 副会長 木下 善成 ほか5名】

■「新・熊本市誕生記念パレード『目指せ！政令指定都市』」実施（平成22年3月22日(月)）

平成22年3月22日に城南町、植木町との合併を記念してパレードを行いました。「目指せ！政令指定都市」の横断幕を先頭に、熊本県警の音楽隊の演奏に合わせてサンロード新市街から下通までを堂々とし進しました。本協議会イメージキャラクターの「きよくまくん」の着ぐるみのお披露目もあり、子ども達も大喜びでした。また、下通アーケードでは城南町、植木町の子どもたちによる太鼓の演奏も行われました。合併日の前日のイベントということもあり、両町にとって忘れられないパレードとなりました。



■PRグッズ・ツールを作成しました。

●クリアファイル

平成22年3月23日に熊本市と合併した城南町、植木町を含む新「熊本市」の地図にそれぞれの人口や名所・特産物、政令指定都市の特徴などを盛り込んだクリアファイルを作成しました。今回、若い世代の皆さんに政令指定都市について興味を持っていただくことを目的として、このクリアファイルを熊本市、城南町、植木町の小学6年生と中学3年生に配布しました。ファイルを家に持ち帰り、家族で政令指定都市について語り合うきっかけになればと思います。



●エコバッグ

今回新しいグッズとしてエコバッグを作成しました。シンプルなデザインでコンパクトに折りたためるタイプと、少し大きめのチェックの柄がおしゃれな2タイプを用意しました。真ん中にはイメージキャラクターの「きよくまくん」のデザインをあしらったカラーも数種類用意しました。熊本市は昨年からは家庭ゴミの有料化が始まっており、エコバッグがこれから活躍することと思います。



●イメージキャラクター「きよくまくん」着ぐるみ

本協議会のイメージキャラクターの「きよくまくん」の着ぐるみが完成しました。とてもかわいらしいデザインで、これからPR活動やイベントに引っ張りだこになりそうです。初めてのお披露目は、3月22日に行われた新・熊本市誕生記念パレードでしたが、行進の先頭に立ち、緊張した面持ち(!?)で愛想を振りまいていました。

熊本市の政令指定都市に向けた動き

■平成22年3月23日(火)

熊本市・城南町・植木町 合併記念式典開催

熊本市・城南町・植木町合併記念式典は、平成22年3月23日、崇城大学市民ホール(市民会館)で議会議員や各種団体の代表者約600人の出席の下開催されました。

オープニングのアトラクションとして熊本市立必由館高校和太鼓部による力強い和太鼓の演奏があり、来場者はその迫力に魅入っていました。

式典の第1部では、合併功労者の表彰及び感謝状の贈呈等が行なわれました。

第2部では、元内閣安全保障室長の佐々淳行氏による『わたしにとっての熊本』と題しての講演があり、ご自身の豊かな経験をもとに「これからの熊本は、若い世代が引っ張っていくべき。」と激励されました。

